

施設整備の目的

東松島市火葬場は、昭和54年に河南地区葬斎場として供用開始してから37年が経過し、その間、適宜修理・補修を行いながら、機能等の維持管理に努め現在に至っています。

しかし、長期稼働に伴う経年的な劣化及び老朽化による建物機能の低下のほか、待合室の狭隘及び駐車場不足等の対策の必要性に迫られてる状況です。また、高齢化社会に伴う火葬件数の上昇が予想される中、火葬業務は困難をきたすと予想されます。

以上より、周辺環境との調和を図りながら火葬場を一新し、利用者の様々なニーズに対応しながらも、故人を偲び人生終焉の儀式にふさわしく、厳粛な中にも心のやすらぎを感じるような新たな火葬場の建設を計画します。

建物の諸元

施設名称：東松島市火葬場

予 定 地：東松島市大塩字引沢 地内

敷地面積：約7,900㎡

施設用途：火葬場

構造規模：鉄筋コンクリート造、地上1階（一部2階）

建物面積：1階床面積 約1,071.0㎡

2階床面積 兼 264.6㎡

施設諸元：火葬炉（人体炉）2基

（概要）お別れ室（告別・収骨兼用室）2室

待合室 約40人収容2室

待合ホール

駐車場 利用者駐車場 51台（うち車いす使用者用2台）

バス駐車場 2台

